

公益社団法人日本新体操連盟

平成 28 年度第 2 回理事会議事録

1. 会議名： 平成 28 年度第 2 回理事会
2. 日時： 平成 28 年 12 月 16 日（金）18 時 30 分～20 時 00 分
3. 場所： 東京都港区西麻布 3-2-32
「霞会館」
4. 構成員現在数： 15 名
5. 出席役員： 二木 英徳（会 長）石崎 朔子（副 会 長）関田史保子（副 会 長）
池田真喜子（専務理事）渡辺 守成（常務理事）崇島 慎一（理 事）
橋本 千波（理 事）宮嶋 泰子（理 事）守永 直人（理 事）
以上 9 名
6. 欠席役員： 福本 隆（副 会 長）山崎 浩子（常務理事）秋山エリカ（理 事）
岡 久留実（理 事）谷口 裕代（理 事）谷原 誠（理 事）
小島浩二郎（監 事）
以上 7 名
7. 議案：
報告事項
報告事項 1 国際体操連盟総会について（定款第 4 条関連事項）
報告事項 2 平成 29 年度事業日程について（定款第 4 条関連事項）
報告事項 3 平成 28 年度前期事業報告について（定款第 4 条関連事項）
決議事項
第 1 号議案 イオンカップ海外チームについて（定款第 4 条関連事項）
第 2 号議案 帯同審判費用について（定款第 4 条関連事項）
第 3 号議案 その他
8. 議事の経過及び結果

(1) 議長による開会宣言

(公社)日本新体操連盟・定款第 30 条第 2 項の定めにより議長を会長二木英徳がつとめ、開会宣言を行った。

(2) 議事録署名人の選出

定款第 32 条により、議長は議事録署名人を二木会長と石崎副会長と崇島理事にする事を議場に諮り承認された。

(3) 定足数の確認

定款第 31 条の定めにより、理事会出席者数が 9 名であることが池田真喜子理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(4) あいさつ

議長は挨拶をすませ、池田理事が進行を務めるよう依頼した。

(5) 報告事項

報告事項1 国際体操連盟総会について（定款第 4 条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

国際体操連盟総会が 10 月 18 日～20 日東京で開催され、次期国際体操連盟役員選挙が行われた。日本新体操連盟からは 渡辺守成常務理事が会長に、関田史保子副会長が新体操技術副委員長に選出された。

(質疑・意見)

議場より、祝福の声がかけられた。

報告事項2 平成 29 年度事業計画について（定款第 4 条関連事項）
議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

主会場として利用している東京体育館より回答を受け取り、下記日程の開催となった。
平成 29 年 7 月 27 日～29 日 全日本新体操クラブ選手権
平成 29 年 8 月 26 日～27 日 全日本新体操クラブ団体選手権
平成 29 年 9 月 29 日～10/1 日 イオンカップ 2017 世界新体操クラブ選手権
平成 30 年 3 月 2 日～4 日 全日本新体操キッズコンテスト

（質疑・意見）

守永理事より、イオンカップが世界体操選手権（カナダ）と日程が重なったこと。チャイルド選手権が例年 2 月末だったものが 1 週間遅れ 3 月第 1 週となったことが合わせて報告された。

報告事項3 平成 28 年度事業前期事業報告について（定款第 4 条関連事項）
議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 第 25 回全日本新体操クラブ選手権について
クラブ選手権を 7 月 22 日～24 日千葉ポートアリーナにて開催された。
参加者は 197 クラブ 591 名であった。

（質疑・意見）

渡辺常務理事より、人数減は日程が理由かと質問があった。池田専務理事より 7 月下旬は県大会等が開催される時期と重なったとの報告があった。

2. 第 16 回全日本新体操クラブ団体選手権について
クラブ団体選手権を 8 月 21 日～22 日東京体育館にて開催された。
参加者は 146 クラブ 902 名であった。
例年 9 月で開催していた大会を 8 月に開催した。

（質疑・意見）

渡辺常務理事より、日程的にクラブ選手権に出場せずクラブ団体選手権に出ていた選手が多かったのではないかと意見があった。

3. イオンカップ 2016 世界新体操クラブ選手権について
イオンカップを 9 月 8 日～11 日東京体育館にて開催された。
参加者は 31 クラブチーム 93 名であった。
大変多くの参加であった。

（質疑・意見）

渡辺常務理事より TV 局からは放映時間帯が現状の時間帯しか取れないと回答があったことが報告された。

4. 日本新体操祭について
日本新体操祭を 9 月 10 日東京体育館にて開催された。
参加者は 50 クラブチーム 1404 名であった。
40 クラブチーム限定としているが、今回は未周知な事もあり、50 チーム受入れた

第 1 号議案 イオンカップ海外チームについて（定款第 4 条関連事項）
議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

今年は参加チームが多く予選 2 日間開催となった。しかし、予選 2 日間開催だと費用が掛

かるため、参加チーム数制限と、費用の事をふまえ、参加チームに下記のような費用負担をお願いしたい。

現状

	渡航費	宿泊費	食費	国内交通費
前年度 上位5チーム	連盟負担	連盟負担	連盟負担	連盟負担
その他チーム	チーム負担	連盟負担	連盟負担	連盟負担

ご提案

	渡航費	宿泊費	食費	国内交通費	チーム負担	連盟負担
前年度 上位5位チーム	連盟負担	連盟負担	連盟負担	連盟負担	0	約 60 万
6～8位チーム	チーム負担	連盟負担	現行より 半額負担	連盟負担	0	約 49.5 万
その他チーム	チーム負担	チーム 半額負担	現行より 半額負担	連盟負担	約 22.5 万	約 27 万

(質疑・意見)

渡辺常務理事より食費負担をチームにお願いするのはどうかと意見があった。池田専務理事より、食事ルームなど用意しなければいけなくなるので、費用、業務負担が増えるとの意見があった。関田副会長より、海外では宿泊費は組織委員会が負担していたと意見があった。

守永理事より、チーム数が増える事による日程増加が一番費用が掛かる事が説明された。

渡辺常務理事より数を増やすより、トップチームが出場するような大会にするのが運営的にも望ましい、イオンカップをワールドカップの一つとすることも検討事項だと意見があった。

石崎副会長より、ワールドカップをアジアでやる意義は世界の新体操にとって大きいと意見があった。

二木会長より、イオンカップという冠は大丈夫かと質問があった。渡辺常務理事より、ドイツなどでは冠を付けてワールドカップを行っているので、大丈夫との回答があった。

渡辺常務理事より、体操でもクラブ杯をやってくれとの意見がある。クラブ名が出る大会として評価はあるとの意見があった。

以上の質疑、意見の後、第1号議案「イオンカップ海外チームについて」では、宿泊費はチームに半額負担してもらおうが、ホテルランクをいくつか用意する。食費は現状のままということで全会一致承認可決された。ワールドカップ化に関しては予算など検討することとなった。

第2号議案 帯同審判制度について (定款第4条関連事項)

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

本連盟主催大会では帯同審判制度を設けている。審判を派遣するチームは必要ないが、審判を派遣しないチームには1万円の費用負担をお願いしている。加盟クラブの方より、クラブ選手権、団体選手権は参加チーム数毎に費用が掛かっているが、チャイルド選手権は出場する選手数が1人だろうが4人だろうが1クラブ1万円となっているのは理屈が違う。との意見があった。その理論でいえばチャイルド選手権は帯同審判費1人に付5000円の費用を負担していただくことになるので、ご意見を頂きたい。

(質疑・意見)

関田副会長、渡辺常務理事ら複数の理事より現状のまま問題ないとの意見があった。その他出席理事もその意見に賛成だった。

以上の質疑、意見の後、第2号議案「帯同審判制度について」は現状の制度のままとすることが、全会一致で承認可決された。

第3号議案 その他について(定款第4条関連事項)

1. AGGのエキシビションについて(定款第4条関連事項)

石崎副会長より、2月開催のチャイルド選手権でAGGナショナルチームのエキシビション演技の提案があった。

(質疑・意見)

池田専務理事より、以前の理事会でAGGの件について、AGGの組織体制がクリアとなつてから、日本新体操連盟にて検討をすることであったと意見があった。渡辺常務理事よりエキシビションであれば特に問題ないと意見があった。

以上の質疑、意見の後、「AGGエキシビションについて」は、全会一致で承認可決された。

2. 男子新体操について(定款第4条関連事項)

宮嶋理事より、男子新体操について方向性を聞きたいと質問があった。

(質疑・意見)

渡辺常務理事より、日本体操協会でも話題になるが、スポーツアクロの中に新たに端部リングという種目を入れてもらう働きかけをする方向で進めている。男子新体操と現在の女子新体操は床の素材が違うため同じ場所で大会を開催するのは簡単に出来るものではないと意見があった。

議長は議場にその他議案が無いか確認したがその他の議案は出なかった。

(6) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し理事会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成28年12月16日

公益社団法人 日本新体操連盟 平成28年度第2回理事会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 石 崎 朔 子

同 崇 島 慎 一